

環境に配慮したイベントをしよう！

# エコイベントマニュアル

## eco event manual



平成20年8月

エコ・ハウスたかねざわ

協力：高根沢町環境課

## 【趣旨】

地球温暖化、森林破壊、大気汚染、水質汚濁など、今、地球環境、自然環境、生活環境の課題は、私たちの日常生活を脅かすものとなっています。規模や内容に関係なく、環境にも配慮したイベントを開催していただくための手引書『エコイベントマニュアル』を作成しました。

環境へ配慮する活動は、来場者や実施者の楽しさを損なわないようにしないと、継続できません。このマニュアルの項目の中で、できる(やれる)範囲で活動していただくことが重要だと考えます。ぜひ、一通り読んでいただき、イベントの主催者や協力者などの会議で検討していただければと思います。みなさまのご協力をお願いします。

また、エコ・ハウスたかねざわでは、物品や設備の貸し出しを行い、エコイベントを応援したいと考えています。ぜひご相談ください。



## 【エコイベントの取組内容】

イベント時の環境への負荷を少なくするための活動として、大きく分けて、以下の6つの取組をお願いしたいと考えています。

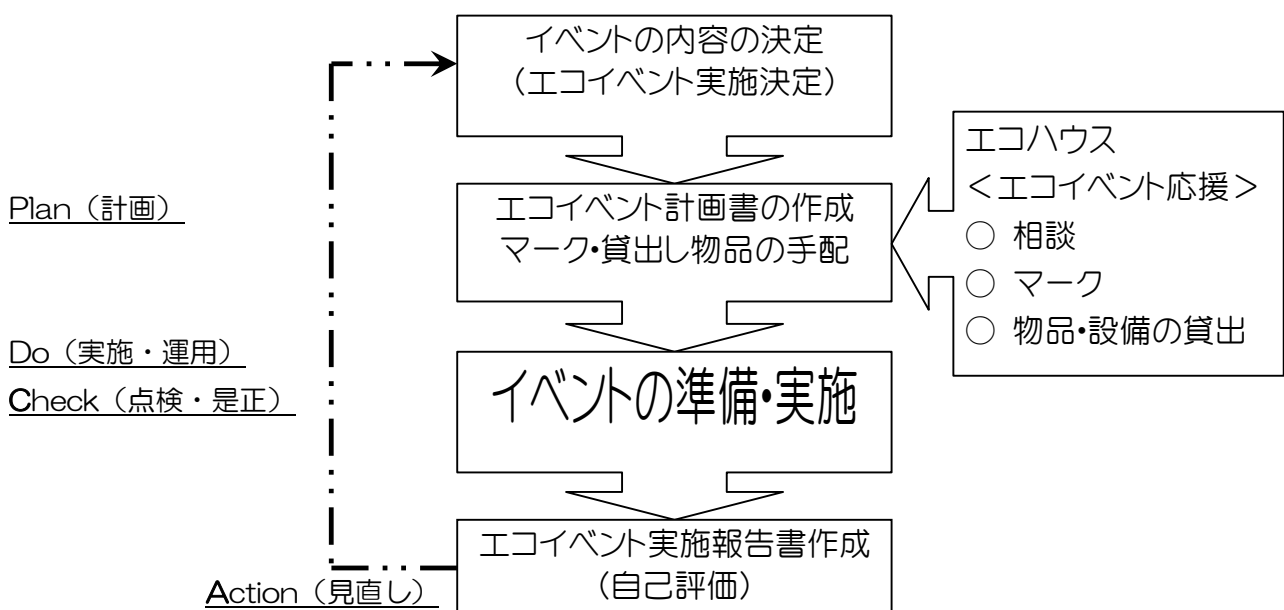
1. 自然環境への配慮
2. ごみ減量化・リサイクル
3. 交通による環境負荷対策
4. 省資源・省エネルギー
5. 参加者への普及啓発
6. 環境配慮を推進する運営体制

取り組む事項は、やむを得ない場合を除き必ず取り組んでいただきたい＜必須項目＞と、一層の環境への配慮をしていただくための＜努力項目＞の2つに分けて表記します。

## 【手順】

イベントを企画する際、エコイベントマニュアルを基に、「エコイベント計画書(チェック式)」を作成します。エコイベント計画書に従い、イベントの準備を進めイベントを実施します。イベント終了後に「エコイベント実施報告書」にて自己評価を行い、次回のイベント反映させるようにします。

また、エコイベント計画書を作成し、宣言したイベントのポスターやチラシなどに付ける「エコイベント」のマークも作成しました。



## 1. 自然環境への配慮

イベントの開催にあたっては、会場周辺の自然の保全や生態系の維持をまず第一に考慮する必要がありますので、イベントを企画する段階から自然や生物の環境には十分配慮して、環境に負荷をかけないイベントを実施します。

そのため、○自然環境にはできる限り手を加えない、○手を加えなければならない場合は、影響を最小限にする、○やむを得ず影響を与えた場合は、復元に努めます。

また、会場周辺の生活環境の保全にも配慮します。

### < 必須項目 >

- ①可能な範囲で、イベントの開催が自然環境へどのような影響を与えるのかを考えます。
- ②会場設置にあたっては、既存施設を活用するなどして自然環境への影響を最小限にします。
- ③植樹、魚の放流等を行う場合は、生態系への影響に配慮します。
- ④自然公園や自然環境保全地域等を利用するときは、その規則を守ります。
- ⑤イベントの開催にあたり環境を悪化させた場合にはその復元に努めます。

### < 努力項目 >

- ①事前に会場周辺の生態系を調べます。
- ②施設の設置にあたっては、自然環境に配慮した工法を活用します。
- ③施設の設置にあたっては、会場周辺の景観に配慮します。
- ④イベント開催に伴い発生する排水、騒音、振動、臭気が周辺の環境を損なうおそれがある場合は、環境への配慮を優先し、その発生を抑制するための取り組みを行います。

## 2. ごみ減量化・リサイクル

イベントには多くの人が集まり、大量のごみが発生する可能性があります。

そのため、イベントの開催にあたっては、すぐに廃棄されてしまう物品や再使用できない物品の購入や配布はできるだけ減らし、どうしても発生が避けられないごみについては、再生利用と適正な処理に努めます。

ごみを出さないためには「3R」の考え方が重要となります。

「3R」とは、Reduce(リデュース:ごみの持ち込みを減らす)、Reuse(リユース:くり返し使う)、Recycle(リサイクル:資源にする)の頭文字をとったものです。

Recycle(リサイクル)をするには、新たなエネルギーが必要となります。環境への影響を考えると、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)の方が、優れていることとなります。

### < 必須項目 >

- ①チラシや資料等は必要部数を考慮して、無駄のないように用意します。
- ②余ったチラシや資料等は再使用、再生利用します。
- ③参加者に、ごみの持ち帰り、減量化、分別等の協力を求めます。
- ④ごみは、ルールに従ってきちんと分別します。

## <努力項目>

- ①エコ・ステーションを設置し、ごみの分別方法を説明するスタッフを配置します。
- ②リユース食器を使用し、使い捨て食器や割り箸の廃棄物を少なくします。
- ③マイバッグ、マイ食器、マイ箸の利用や簡易包装を呼びかけます。
- ④マイバッグなどにより環境配慮に協力している参加者へ特典を与えます。
- ⑤食品廃棄物やイベント資材の再生利用等に取り組みます。

### エコ・ステーショングッズの貸出しをしています。(エコ・ハウスたかねざわ)

エコ・ハウスたかねざわでは、分別がきれいにしっかりとできる「エコ・ステーション」グッズ(1セット)の貸出しをしています。貸出しは無料ですが、ごみ袋等の消耗品及び運搬は使用者の負担になります。ぜひご利用ください。

利用の際は分別方法を説明するスタッフの確保もお願いします。

【お問い合わせ・申し込み】エコ・ハウスたかねざわ



### リユース食器の貸出しをしています。(エコ・ハウスたかねざわ)

エコ・ハウスたかねざわでは、リユース食器として、「どんぶり・角皿・深皿・箸・グラス・コップ・トレイ」の貸出しをしています。貸出しは基本的には無料ですが、紛失が多い場合は実費弁償をお願いする場合があります。また、運搬は使用者の負担となります。ぜひご利用ください。

【お問い合わせ・申し込み】エコ・ハウスたかねざわ



どんぶり



角皿



深皿



はし



グラス



コップ



トレイ

食器の大きさや数については、お問い合わせください。

## リユース食器洗浄ユニット(さらピカくん)の貸出しをしています。(エコ・ハウスたかねざわ)

エコ・ハウスたかねざわでは、リユース食器等を衛生的に洗浄する「リユース食器洗浄ユニット“さらピカくん”」の貸出しをしています。利用料金はイベント1日あたり3000円です。(高根沢町内の非営利活動のイベントの場合は1000円に減免されます。)また、会場に100V電源(コンセント)、給水栓、排水口(下水または浄化槽)が必要になるほか、洗浄のためのスタッフが必要になります。



【お問い合わせ・申し込み】エコ・ハウスたかねざわ

リユース食器洗浄ユニット“さらピカくん”

### 3. 交通による環境負荷対策

イベントには多くの人々が様々な交通手段を用いて集まります。それらの交通手段による排気ガスや渋滞によるエネルギーロスは環境に大きな負荷を与えます。特に、乗用車は、一人を運ぶのに消費するエネルギーが電車やバスに比べて多く、また、交通渋滞の原因になるおそれがあります。

そのため、イベントを開催する際には、電車やバス等の効率的な交通手段の確保に努め、交通による環境負荷が小さくなるような会場設定を行います。

#### < 必須項目 >

- ①会場の選定に際しては、可能な限り公共交通機関の利用に配慮します。
- ②徒歩、自転車、公共交通機関等の環境負荷の少ない手段の利用を呼びかけます。
- ③自動車の効率的な利用(相乗り等)やアイドルングストップを呼びかけます。

#### < 努力項目 >

- ①シャトルバスの活用により、効率的な交通手段を用意します。
- ②効率的な自動車の誘導、交通経路の情報提供等を実施するとともに、必要に応じて交通規制を行います。
- ③交通渋滞を引き起こさないように、イベント開催時間を適切に設定します。
- ④公共交通機関の利用、自動車の相乗りなど、環境配慮に協力している参加者に対して特典を与えます。
- ⑤電気自動車、ハイブリッド自動車などの低公害車を活用します。
- ⑥主催者や関係者の会場への集合には、公共交通機関の利用や乗り合わせを行います。

### 4. 省資源・省エネルギー

イベント開催時には、照明や空調等、様々な資源やエネルギーを消費することが想定されます。

そこで、イベントの開催にともなうエネルギーや資源の使用量削減に努めます。また、物品やサービスの購入にあたっては、環境に配慮したものを優先します。

### < 必須項目 >

- ①印刷物には原則として再生紙を使用するなど環境に配慮した素材を用います。
- ②照明や空調によるエネルギー消費をできるだけ少なくします。
- ③参加者に省資源・省エネルギーへの協力を呼びかけます。
- ④物品等の購入に当たっては、環境に配慮した商品(エコマーク、グリーンマーク商品等)の購入に努めます。

### < 努力項目 >

- ①インターネット等を活用して、資源を節約したPRを行います。
- ②電気機器等の使用にあたっては、省エネルギー型の設備や機器等を優先して使用します。
- ③節水型トイレや雨水利用システム等の省資源型設備を導入します。
- ④会場内の照明や移動手段の動力源等に、太陽光発電や生ごみ発電等の新エネルギーを活用します。
- ⑤資材、物品等はできるだけ地域で生産されたものを調達するよう心がけるとともに、イベントの講師等には地域で活動する方を積極的に活用します。

## 5. 参加者への普及啓発

環境に配慮したイベントを成功させるためには、イベントの主催者だけではなく、出展者や来場者を含めた関係者一同が環境意識を持つことが必要です。

そのため、イベント主催者だけではなく、関係者に環境配慮の内容を説明するとともに、環境配慮活動を呼びかけます。

### < 必須項目 >

- ①環境に配慮したイベントであることを積極的にPRします。
- ②環境配慮の内容を参加者にわかりやすく示し、協力を求めます。

### < 努力項目 >

- ①参加者自らが環境への配慮を体験できるようにします。
- ②参加者に各種環境関連情報を積極的に提供します。
- ③委託業者や出展業者に対して、当イベントで実施している環境配慮の趣旨や内容を十分に説明して、協力を依頼します。

## 6. 環境配慮を推進する運営体制

エコイベントを成功させるためには、イベントを運営する方々が、環境に配慮する取組を理解することから始まります。

また、Plan(計画)・Do(実施・運用)・Check(点検・是正)・Action(見直し)と環境に配慮する取組のステップアップの意識も重要となります。

## <必須項目>

- ①環境に配慮したイベントとすることを宣言し、エコイベント計画書(取組項目、内容等)を作成します。
- ②環境配慮を推進する責任者を決めて、進行管理を行います。
- ③スタッフや出展者等に取組項目等を事前に説明し、環境配慮の徹底を図ります。
- ④取組結果をチェックして、常にステップアップを図ります。

## <努力項目>

- ①取組内容や成果を積極的にPRし、他のイベントにおける環境配慮に貢献します。
- ②各種ボランティア団体等との連携・協働を図ります。
- ③ユニバーサルデザインの考え方に基づいた運営を行います。

### 「エコイベントたかねざわ」マークを準備しました。(エコ・ハウスたかねざわ)

エコイベント計画書を作成したイベントを、エコイベントとして認証します。認証されたイベントは、「エコイベント」のマークをポスターやチラシに付けることができます。環境配慮型イベントのPRにお使いください。



「エコ・ステーショングッズ貸出事業」・「リユース食器貸出事業」・「リユース食器洗浄ユニット貸出事業」は、別にチラシと申請用紙などを用意しております。お気軽にお問い合わせください。

作成 平成20年6月15日 初版  
平成20年8月 8日 改定(1回目)  
エコ・ハウスたかねざわ  
栃木県塩谷郡高根沢町宝積寺 2021-15  
TEL 028-680-2080  
FAX 028-675-8071  
E-mail: ecohouse-t@nifty.com



協力 高根沢町環境課  
栃木県塩谷郡高根沢町石末 2053  
TEL 028-675-8109 FAX 028-675-8114  
E-mail: kankyou@town.takanezawa.tochigi.jp

